

たまには、夜空の星や月を見てスローライフを楽しみませんか。



We love the moon.

日本人の暮らしと縁の深い「月」。
一年で最も夜空の美しいこの時期に月の話題に少々おつきあいを。



ちょっとおしゃれに月の土地をプレゼント!

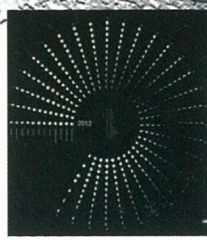
月の土地を販売しているのは、アメリカ人のデニス・ホブ氏。誕生日や結婚、出産祝い、クリスマスやバレンタインといったプレゼントとして月の土地権利書はいかがですか?月並みでないプレゼントをお探しの方に詳しくは...

<http://www.lunarembassy.jp/>



日本文化を変えた改曆に挑む歴史ロマン「天地明察」

江戸時代の天文学者、波川春海の生涯を描いた沖方 丁の小説。当時、日本で使用されていた中国伝来の暦を日本独自の暦に変えることに挑戦した物語です。波川春海も美しい秋の夜空を眺め改曆に思いを馳せたことでしょう。



月の満ち欠けが一目! アートカレンダー

季節、といった大きな単位ではなく、毎日という単位で変化を感じられる月齢カレンダー。視覚的にオシャレに配置された月の満ち欠け図。光を蓄えて暗闇で発光する「蓄光印刷」で、部屋を暗くすると月の部分が発光します。インターネットから「ムーンカレンダー」で検索。



全アポロ着陸地点記載! 1100万分の1の月球儀

表面にはクレーターや山脈も記され、アポロ宇宙船や探査機の着地点なども表示。解説書には、国立天文台による月の起源や進化についての最新の情報や月探査の歴史も紹介した解説書付で販売されています。



自動追尾機能で本格的な天体観測ができる!

簡単なセッティングで、一度とらえた天体を望遠鏡が自動で追いつける「自動追尾機能」付。家族や友達と交代で見たいときも目標をとらえることができ安心です。秋の夜長、自宅のデッキで天体観測。こんな豊かな時間を味わえるかも...



日本にもあった月の石! 直径50ミリ

日本で月の石を見ることが出来る場所の代表としては、東京・上野の国立科学博物館です。ここには、アポロ11号とアポロ17号により持ち帰られた月の石が常設展示されています。写真の石はアポロ17号着陸点で採集されたものです。



関東、関西で違う形! 味はどっちかな?

月見団子といった思いつくのがコレ! (写真下)一口サイズの丸いお団子です。しか〜し関西の月見団子は芋形に餡子が乗っている形ですね。岡山は関東風のものが多いのでしょうか。



風のない月面で旗が揺らめく?!

よく話題になる「旗めく星条旗」の写真。アポロ11号でオールドリン宇宙飛行士がはためく旗の前に立っている。真空、無風状態の月面では旗はなびかず人工のセットの中で撮影されたのてはという疑惑が。Photo by NASA



宇宙へのロマンを掻き立てる「NASA App」

アポロの月面着陸やスペースシャトルの打ち上げなどNASAの活動やミッションなどが見られる公式アプリ。人工衛星の情報やTwitterやFacebook、メールなどの共有をはじめ、衛星の軌道、打ち上げのカウンタダウン画像の閲覧も可能。

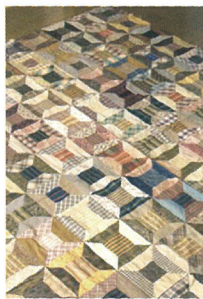
<http://www.nasa.gov/centers/ames/iphone/index.html>

特集

愛犬との快適生活に
ペットのためのサンルーム<ペトルーム>

キルティングあれこれ

多彩な色使いと図柄が魅力のキルティング。使う人を思いながら一針一針さしていく作業には、作る人の愛情と思いが込められているようで、心引きつけられますね。キルティングは、2枚の布の間に綿(わた)や芯、羽毛などをはさみ、ランニング・ステッチなどでとめつける手芸です。語源でもあるキルト(Quilt)は、古くは古代エジプトで用いられていたとか。現在のスタイルはヨーロッパで発祥し、アメリカで発展しました。ヨーロッパキルト、アメリカンキルト、アーミッシュキルト、ハワイアンキルト、ジャパニーズキルト、アイランドキルトなどの種類があります。キルティングの技法もいろいろですが、主なものをご紹介します。



◆イングリッシュ・キルティング

2枚の布の間に綿か芯をはさみ、布全体にステッチしたもの

◆イタリアン・キルティング

図柄の輪郭を2本のステッチで縫い、裏から毛糸などを詰めたもの

◆アメリカン・キルティング(パッチワーク・キルト)

表布にアップリケまたはパッチワークをし、綿か芯をはさみ、裏布と3枚重ね、表の図柄にステッチしたもの